様式３(2020.08改)

作成日　令和　3　年　4　月　27　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392700031
事業所名	グループホーム　長寿の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入している。回覧板が回るようになり、情報を得て地域行事に参加していたが、今年度はコロナ禍の影響で、ほとんどの地域行事が中止となり、来訪者やボランティア訪問もなくなり地域との交流は減少した。日々の散歩は感染対策をしっかりしながら出かけ、地域の方から声がかかったり、差し入れがあることもあり交流を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は2か月に1回、入居者や家族、市職員、地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員などの参加を得て開催しているが、今年度はコロナ禍で家族の参加は出来ていない。事業所の運営状況や活動、研修内容などを報告、説明している。出席者からは情報交換やアドバイスを受けて運営やサービス向上に活かしている。家族へは議事録を配布している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	介護認定書類や更新の代行業務などで、行政に出向く時など機会あるごとに担当者からアドバイスを受けたり情報交換に努めている。運営推進会議にも毎回出席があり、法令に関する変更事項等の指導を受けたり、相談をしたり連携協力関係を深めている。夏季に疥癬が出た時の対策やコロナ感染予防対策等こまめな相談指導を受けることが出来ている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日常ケアの中で色々な意見や要望を聞いている。家族から聞いた意見や要望は管理者が内容を集約して職員へ周知し、運営に反映させている。コロナ禍で面会が規制されているが、ラインやビデオレターを利用している。また、月1回のお便りでは、3～4枚のスナップ写真と共に個々の様子を知らせて家族に安心を届けている。家族の意見や要望は電話等でも聞くように努め、その時々柔軟に対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

今年度はコロナ禍に翻弄され、様々な規制や行事等の中止がある中でも、入居者のことを一番に考え、入居者の思いや、やりたいことを成すためには何をしたらよいかを皆で考え実施出来ている。コロナが終息し環境が整えば、行事などの年間計画に沿った活動を入居者と共に楽しみたいと計画している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） 例に関する指導を受けた。変更事項などの ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	○	―	×	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										